

SWITCH-TRACK™

BUFFERED & DUAL ISOLATED ABY SWITCHER

MIDIオペレーション



MIDIオペレーション

Power-On & デフォルト設定	1-2
MIDI メッセージ Overview	2
プログラムチェンジ & プリセット	2-3
プリセットバンクの選択	4-5
コントロールチェンジ & インスタントアクセス	6-7
SysExデータ ダンプ/ロード.....	8-9
SysExソフトウェアバージョン	9
プログラムチェンジメッセージの送信	10

MIDIコンフィギュレーション

MIDIチャンネルのエディット	10-12
ファクトリーリストア	12-15

MIDIオペレーション

Power-On & デフォルト設定

2つのアウトプット端子のファクトリー・デフォルト設定は、電源投入時でOUTA=アクティブ/ON、OUTB=ミュート/OFFです。これはMIDIプリセットやパッチ#1をエディットすることでカスタマイズすることができます。電源が投入されると、ボタン操作がない状態ですぐに4つのLEDがすべて1秒間点滅します。次の2つのセットアップモードは電源投入時にのみアクセス可能で、「MIDIコンフィギュレーション」のセクションで詳しい説明を記載しています。

MIDIチャンネルのエディット(編集) SAVEボタンを押しながら電源を入れる

ファクトリーリストア SAVEボタンとSTOMP A+Bスイッチを押しながら電源を入れ、PHASEボタンを "IN"(0度)ポジションに設定します。

MIDIメッセージ Overview

SWITCH-TRACK™がMIDIプログラムチェンジとコントロールチェンジメッセージに反応するファクトリー・デフォルト設定のMIDIチャンネルは、MIDIチャンネル#1です。

有効なMIDIメッセージが受信されると、下記の各LEDが1回点滅して受信したことを表示します。

LED A MIDIプリセットバンクセレクトメッセージ(CC #0)が受信されたことを示します(下記参照)

LED B MIDIメッセージを受信したときのOUTBの位相を示します(LED BがOFFの場合のみ)

LED BOTH 正しいMIDIチャンネルでMIDIコントロールチェンジナンバーを受信したことを示します

LED MUTE 正しいMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジナンバーを受信したことを示します

プログラムチェンジ & プリセット

MIDIプログラムチェンジナンバー1~128で最大256のプリセットまたはパッチを、2つのバンクに保存して呼び出すことができます。各プリセットには、OUT A、OUT Bそれぞれの状態と位相、および両方のアウトプットのアクティブ/ONまたはミュート/OFFの状態が保存されます。SWITCH-TRACK™と同じMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジナンバーが受信されると、受信したナンバーのセーブされた設定が呼び出されます。

MIDIを使用するには、MIDIフットコントローラーをSWITCH-TRACK™のMIDI IN端子に接続するだけです。ファクトリー・デフォルトではMIDIチャンネル#1に設定されていますので、MIDIフットコントローラーがMIDIチャンネル#1でプログラムチェンジナンバーを送信するように設定されていることを確認するか、EDIT MIDI CHANNELのセクション(下記)を参照してMIDIフットコントローラーと一致する、SWITCH-TRACK™が反応するMIDIチャンネルへ変更します。

プリセットを選択、エディット、保存する手順は次のとおりです。

1. MIDIフットコントローラーでMIDIプログラムチェンジナンバーを選択する—LED MUTEが点滅します。
2. SWITCH-TRACK™の2つのストップスイッチで、OUT AとOUT BをONまたはOFFに設定して、必要に応じてOUT Bの位相を選択します。
3. SAVEボタンを押すと、4つのLEDがすべて点滅しプリセットが保存されたことを示します。

これで操作は完了です。他のMIDIプログラムチェンジナンバーでも上記の簡単な3ステップを繰り返すだけです。

Note: 上記のステップ # 1でLED MUTEが点滅しない、もしくはステップ # 3で4個のLEDが点滅しない場合は、SWITCH-TRACK™がMIDIプログラムチェンジナンバーを受信しなかったか、またはMIDIコントロールチェンジのような別のMIDIメッセージがプリセットの保存を妨げていることを示します。このような場合には以下を確認してください。(1)MIDIケーブルが正しく接続されていてケーブルやジャックに損傷がないこと (2)MIDIフットコントローラーが正しいMIDIチャンネルに設定されていること (3)MIDIフットコントローラーがMIDIプログラムチェンジナンバーと同じMIDIチャンネル上のMIDIコントロールチェンジを送信していないこと—これは、ステップ # 1でLED BOTHが点滅しないことでも確認することができます。

Note: プリセットは、OUT AとOUT BのON/OFFの状態をOUT Bの位相とともに個別に保存しますが、BOTHまたはMUTE機能の状態は保存されません。かわりに、SWITCH-TRACK™は両方のアウトプットのそれぞれの状態によって、BOTHまたはMUTE機能をいつアクティブにするかを決定します。つまり、両方のアウトプットがONまたはOFFのプリセットが選択されるとBOTHまたはMUTE機能が自動的にアクティブになり、LEDが点灯します。BOTH機能がアクティブで新たに読み込まれたプリセットがMUTE機能をアクティブにしている場合、LED BOTHの状態は変更されません。しかし、MUTE機能がアクティブで新たに読み込まれたプリセットがBOTH機能をアクティブにしている場合、LED MUTEはOFFになります。両方のアウトプットがONまたはOFFのプリセットが選択されている場合、LED AおよびLED Bは影響を受けません。これにより、これにより、MIDIとプリセットを使ってSWITCH-TRACK™のストップスイッチの機能を正常にコントロールすることが可能です。

プリセットバンクの選択

前述のとおり、128のプリセットを2つのバンクに保存することができ、合計256のプリセットが可能です。

BANK 1 電源をONにしたときのデフォルト設定で、MIDIプログラムチェンジナンバーはこのバンクのプリセットを呼び出します

BANK 2 MIDIバンクセレクトメッセージのMIDIコントロールチェンジナンバー #0でアクセス可能になります

SWITCH-TRACK™のMIDIコントロールチェンジナンバー #0を送信するとき、コントロールバリューの値が0でBANK 1が選択され、コントロールバリューの値が1以上でBANK 2が選択されます。SWITCH-TRACK™と同じMIDIチャンネルの設定でプリセットバンクセレクトメッセージが受信されるとLED Aが点滅します。

Note: プリセットバンクの選択は半永久的です。これは、後続のMIDIプログラムチェンジメッセージが、選択したバンクのプリセットを呼び出すことを意味します。例えば、BANK 2を選択すると、後続のすべてのMIDIプログラムチェンジメッセージは、BANK 2のプリセット(129~256)を呼び出します。また、BANK 1を選択すると、それ以降のすべてのMIDIプログラムチェンジメッセージはバンク1のプリセット(1~128)を呼び出します。

コントロールチェンジ & インスタントアクセス

SWITCH-TRACK™は、MIDIプログラムチェンジナンバーに加え、CCメッセージまたはMIDIコンティニューアスコントローラーとも呼ばれるMIDIコントロールチェンジナンバーにも対応しています。

MIDIコントロールチェンジナンバーを送信できるMIDIフットコントローラーを使用する場合は、フットコントローラーのボタンを割り当てて、SWITCH-TRACK™のスイッチやボタン機能のインスタントアクセスまたはダイレクトコントロールに割り当てることができます。

WARNING: 通常は、MIDIコントロールチェンジまたはMIDIプログラムチェンジナンバーのいずれかでデバイスをコントロールしますが、その両方のナンバーを使用した場合予期しない動作が発生する可能性があります。

SWITCH-TRACK™は、2つの異なるMIDIコントロールチェンジグループに対応しています。これらのグループは混在させてしまうと、予期しない動作が発生する可能性があります。

GROUP 1 MIDIコントロールチェンジナンバーとストップスイッチでSWITCH-TRACK™の機能をコントロールし、4つのLED全てを表示用を使用するのに適しています。

GROUP 2 SWITCH-TRACK™の機能をMIDIコントロールチェンジナンバーのみでコントロールし、LED AとLED Bのみを表示用として使用する場合に適しています。

正しいMIDIチャンネルでMIDIコントロールチェンジナンバーが受信されると、LED BOTHが1回点滅して有効なMIDIコントロールチェンジナンバーを受信したことを示します。LED MUTEも点滅している場合は、まだMIDIプログラムチェンジナンバーが受信されていることを示しますが、これは上記の警告のとおりお勧めできません。

MIDIコントロールチェンジナンバー(GROUP 1)

MIDI CONTROL CHANGE NUMBER	CONTROL VALUE	FUNCTION / COMMENTS
#20	0 - 63 64 - 127	OUT A アクティブ/ON, OUT B ミュート/OFF OUT B アクティブ/ON, OUT A ミュート/OFF
#21	0 - 63 64 - 127	BOTH function = OFF BOTH function = ON
#22	0 - 63 64 - 127	MUTE function = OFF MUTE function = ON
#23	0 - 63 64 - 127	OUT B phase = ノーマル(0度) OUT B phase = インバート(180度)

MIDIコントロールチェンジナンバー(GROUP 2)

MIDI CONTROL CHANGE NUMBER	CONTROL VALUE	FUNCTION / COMMENTS
#24	0 - 63 64 - 127	OUT A ミュート/OFF OUT A アクティブ/ON
#25	0 - 63 64 - 127	OUT B ミュート/OFF OUT B アクティブ/ON
#26	0 - 63 64 - 127	OUT B phase = ノーマル(0度) OUT B phase = インバート(180度)
#27	0 - 63 64 - 127	OUT B ミュート/OFF, phase = ノーマル(0度) OUT B アクティブ/ON, phase = ノーマル(0度)
#28	0 - 63 64 - 127	OUT B ミュート/OFF, phase = インバート(180度) OUT B アクティブ/ON, phase = インバート(180度)
#29	0 - 63 64 - 127	OUT A & OUT B ミュート/OFF, phase = ノーマル(0度) OUT A & OUT B アクティブ/ON, phase = ノーマル(0度)
#30	0 - 63 64 - 127	OUT A & OUT B ミュート/OFF, phase = インバート(180度) OUT A & OUT B アクティブ/ON, phase = インバート(180度)

SysExデータ ダンプ/ロード

SysExデータダンプは、SWITCH-TRACK™のユーザープリセット(256個)、MIDIチャンネル設定、およびエラー検出のためのCRC(Cyclic Redundancy Check)バイトを備えたMIDIシステムエクスクルーシブメッセージまたはファイルです。コンピューターに送信したり、バックアップとして保存したり、別のSWITCH-TRACK™にロードして正確なコピーを作成することができます。

SysExデータダンプをコンピューターに送信するには、MIDI SysExファイルを送受信できるMIDI/USBインターフェイスとMIDIアプリ/ユーティリティ(無料のものが多くあり、Macにはwww.snoize.comのSysEx Librarian、Windowsにはwww.midiox.comのMIDI-OXをお勧めします)。

SWITCH-TRACK™は、電源がONになった後MIDIメッセージを受信する前にSysExデータダンプメッセージを送信することができます。

SysExデータダンプメッセージは、以下のとおり送信または“ダンプ”できます。

1. SWITCH-TRACK™のMIDI THRU端子をMIDI/USBインターフェイスのMIDIインプットまたは別のSWITCH-TRACK™のMIDI INに接続します。
2. SAVEボタンを1秒間長押しすると、4つのLEDが全て点灯しSysExデータダンプメッセージがMIDI THRUジャックから送信されます。完了するまで数秒かかります。

SysExデータダンプメッセージは、以下のとおりいつでも完全な状態のMIDIスピードで受信またはロードすることができます。

1. SWITCH-TRACK™のMIDI IN端子をMIDI/USBインターフェイスのMIDIアウトプットまたは別のSWITCH-TRACK™のMIDI THRUに接続します。
2. SysExデータダンプメッセージを送信すると、受信が開始するとすぐに4つのLEDがすべて点灯します。完了するまで数秒かかります。

SysExデータダンプメッセージを受信すると、SWITCH-TRACK™はプリセット # 1で自動的に再起動します。

SysExデータダンプメッセージが正常に受信されなかった場合、CRCエラーによりSWITCH-TRACK™は別のSysExデータダンプメッセージの受信待機状態となります。

LED MUTEが点滅し、LED Bが黄色に点灯し、CRCエラーを示します。

Note: SysExデータダンプメッセージを受信すると、最初にRAMバッファに保存され、不揮発性EEPROMメモリに保存されている既存のユーザーデータは上書きされません。既存のユーザーデータは、SysExデータダンプメッセージ全体がCRCエラーなしで完全に受信された後に上書きされます。

Note: SysExデータダンプメッセージを送受信するときはOUTAとOUTBの両方がミュート/OFFされ、MIDI INとMIDI THRU端子は、それぞれ受信したMIDIメッセージとMIDIメッセージの送信を無視します。

SysExソフトウェアバージョン

SWITCH-TRACK™によって送信される全てのSysExデータダンプメッセージの後には、ソフトウェアバージョン番号を含むもう1つの短いMIDI SysExメッセージが続けて送信されます。このメッセージは、SysExデータダンプメッセージが受信またはロードされているときは無視されます。

SysExデータダンプメッセージを受信している間にこのメッセージをコンピューターでキャプチャーして表示するには、使用されているMIDI SysEx Librarianアプリ/ユーティリティ内のオプションとして、「Record Many」または「Receive Many」を選択するだけです。

MIDI SysEx Software Version message format: F0 00 01 4B 06 68 x y F7

x yはソフトウェアのバージョンであり、たとえば3.1は03 01と表示されます。

プログラムチェンジメッセージの送信

SWITCH-TRACK™は、他のデバイスに使用できるシンプルな4プリセットMIDIフットコントローラーとしても機能します。

SWITCH-TRACK™が受信したMIDIメッセージがない場合、次のMIDIプログラムチェンジメッセージ(同じMIDIチャンネル上でMIDIメッセージを受信するように設定されています)をMIDI THRU端子を介して他のMIDIデバイスに送信します。

OUTA(LED A ON)=MIDIプログラムチェンジナンバー #1を送信します

OUTB(LED B ON)=MIDIプログラムチェンジナンバー #2を送信します

BOTH(LED BOTH ON)=MIDIプログラムチェンジナンバー #3を送信します

MUTE(LED MUTE ON)=MIDIプログラムチェンジナンバー #4を送信します

MIDIコンフィギュレーション

MIDIチャンネルのエディット

工場出荷時のデフォルト設定ではMIDIチャンネル #1です。
MIDIチャンネルを変更方法は以下のとおりです。

1. SAVEボタンを長押ししながらSWITCH-TRACK™に電源を入れます。
2. LED BOTHとLED MUTEが点灯したらSAVEボタンを離します。
3. LED BOTHとLED MUTEがOFFになると現在のMIDIチャンネルが表示されます。
4. エディットまたは変更を行うには、STOMP A/Bスイッチを押すと表示されたMIDIチャンネルの数字が上昇し、STOMP A+Bスイッチで下降します。新しいMIDIチャンネルは自動的に保存されます。

MIDI CHANNEL

MIDI CHANNEL	LED MUTE	LED BOTH	LED A	LED B
#1	x	x	x	x
#2	x	x	x	ON
#3	x	x	ON	x
#4	x	x	ON	ON
#5	x	ON	x	x
#6	x	ON	x	ON
#7	x	ON	ON	x
#8	x	ON	ON	ON
#9	ON	x	x	x
#10	ON	x	x	ON
#11	ON	x	ON	x
#12	ON	x	ON	ON
#13	ON	ON	x	x

#14	ON	ON	x	ON
#15	ON	ON	ON	x
#16	ON	ON	ON	ON

5. PHASEボタンを押して終了すると、SWITCH-TRACK™は自動的に再起動します。

Note: MIDIチャンネルのエディットや変更時はOUT AとOUT Bはともにミュート/OFFされます。また、MIDI INとMIDI THRU端子は、それぞれ受信したMIDIメッセージとMIDIメッセージの送信を全て無視します。

ファクトリーリストア

工場出荷時のデフォルト設定はMIDI Channel # 1と8つの異なるプリセットで、以下の表に示すように8個のプリセットが32回リピートされるため合計256プリセットとなります。

工場出荷時のリストアを実行する手順は次のとおりです。

1. PHASEボタンを "IN" のポジションにして、SAVEボタンとSTOMP A+Bスイッチを長押ししながらSWITCH-TRACK™の電源を入れます。
2. LED AとLED Bが点灯したら、STOMP A+Bスイッチだけを離してください。
3. ファクトリーリストアを中止し現在の設定とプリセットを使用する場合は、SAVEボタンを離してください。
4. ファクトリーリストアを実行する場合は、PHASEボタンを"OUT"のポジションに変更してSAVEボタンを離します。
5. LED AがOFFになり、LED Bが緑色から少し明るい緑色、そして黄色に変わるとファクトリーリストアが開始されます。

6. ファクトリーリストアが完了すると、SWITCH-TRACK™は新しいファクトリーデフォルトの設定とプリセットで自動的に再起動します。

Note: ステップ5の後、LED MUTE(赤色)が点滅し始めて残りの3つのLEDがOFFのままであれば、少なくとも1個以上のメモリのロケーションが損なわれていることを示しています。ファクトリーリストアは実行され完了していますが、SWITCH-TRACK™の電源を一度切ってから再度電源を入れて使用してください。

Note: OUT AとOUT Bはファクトリーリストア中はミュート/OFFされ、MIDI INとMIDI THRU端子はそれぞれ受信したMIDIメッセージとMIDIメッセージの送信を全て無視します。

Note: プリセットは、OUT AとOUT BのON/OFFの状態をOUT Bの位相とともに個別に保存しますが、BOTHまたはMUTE機能の状態は保存されません。かわりに、SWITCH-TRACK™は両方のアウトプットのそれぞれの状態によって、BOTHまたはMUTE機能をいつアクティブにするかを決定します。つまり、両方のアウトプットがONまたはOFFのプリセットが選択されるとBOTHまたはMUTE機能が自動的にアクティブになり、LEDが点灯します。BOTH機能がアクティブで新たに読み込まれたプリセットがMUTE機能をアクティブにしている場合、LED BOTHの状態は変更されません。しかし、MUTE機能がアクティブで新たに読み込まれたプリセットがBOTH機能をアクティブにしている場合、LED MUTEはOFFになります。両方のアウトプットがONまたはOFFのプリセットが選択されている場合、LED AおよびLED Bは影響を受けません。これにより、これにより、MIDIとプリセットを使ってSWITCH-TRACK™のストンプスイッチの機能を正常にコントロールすることが可能です。

FACTORY PRESETS

USER MEMORY / PRESET NUMBER	MUTE	BOTH	OUTA	OUTB	PHASE
1, 9, 17, 25, 33, 41, 49, 57, 65, 73, 81, 89, 97, 105, 113, 121, 129, 137, 145, 153, 161, 169, 177, 185, 193, 201, 209, 217, 225, 233, 241, 249	OFF	OFF	アクティブ /ON	ミュート /OFF	ノーマル(0度)
2, 10, 18, 26, 34, 42, 50, 58, 66, 74, 82, 90, 98, 106, 114, 122, 130, 138, 146, 154, 162, 170, 178, 186, 194, 202, 210, 218, 226, 234, 242, 250	OFF	OFF	アクティブ /ON	ミュート /OFF	インバート(180度)
3, 11, 19, 27, 35, 43, 51, 59, 67, 75, 83, 91, 99, 107, 115, 123, 131, 139, 147, 155, 163, 171, 179, 187, 195, 203, 211, 219, 227, 235, 243, 251	OFF	OFF	ミュート /OFF	アクティブ /ON	ノーマル(0度)
4, 12, 20, 28, 36, 44, 52, 60, 68, 76, 84, 92, 100, 108, 116, 124, 132, 140, 148, 156, 164, 172, 180, 188, 196, 204, 212, 220, 228, 236, 244, 252	OFF	OFF	ミュート /OFF	アクティブ /ON	インバート(180度)

5, 13, 21, 29, 37, 45, 53, 61, 69, 77, 85, 93, 101, 109, 117, 125, 133, 141, 149, 157, 165, 173, 181, 189, 197, 205, 213, 221, 229, 237, 245, 253	OFF	ON	アクティブ /ON	アクティブ /ON	ノーマル(0度)
6, 14, 22, 30, 38, 46, 54, 62, 70, 78, 86, 94, 102, 110, 118, 126, 134, 142, 150, 158, 166, 174, 182, 190, 198, 206, 214, 222, 230, 238, 246, 254	OFF	ON	アクティブ /ON	アクティブ /ON	インバート(180度)
7, 15, 23, 31, 39, 47, 55, 63, 71, 79, 87, 95, 103, 111, 119, 127, 135, 143, 151, 159, 167, 175, 183, 191, 199, 207, 215, 223, 231, 239, 247, 255	ON	OFF	ミュート /OFF	ミュート /OFF	ノーマル(0度)
8, 16, 24, 32, 40, 48, 56, 64, 72, 80, 88, 96, 104, 112, 120, 128, 136, 144, 152, 160, 168, 176, 184, 192, 200, 208, 216, 224, 232, 240, 248, 256	ON	OFF	ミュート /OFF	ミュート /OFF	インバート(180度)



ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします

お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）

受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）